

## 令和7年度使用中学校教科用図書の採択について

種 目	国語	発行者	光村図書出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>各教材の「学びの扉」で、学習の流れを明示することで、主体的な学びが引き出せるようになっている。</li> <li>各単元の扉にある「言葉を味わう」では、日本語の多様性と美しさに触れる機会を作っている。</li> <li>教科書の中に綴じこまれた「語彙ブック」、資料編も充実している。</li> <li>1年生の教科書は小学校から中学校へのつながりがうまくできている。</li> </ul>			
種 目	国語（書写）	発行者	光村図書出版株式会社
<ul style="list-style-type: none"> <li>手書きの良さを考えることで、書写を学ぶ意識を明確にしている。</li> <li>「全国文字マップ」、「文字の歴史」を探るなど、文字に対しての興味を持たせる工夫がある。</li> <li>お手本を見開きにして、半紙大に示してあって、バランスなどを捉えやすくしながら、書けるような工夫がある。</li> <li>左利きの生徒のために、用具の配置を示した写真や動画が掲載されており、左利きの生徒も使いやすい構成となっている。</li> <li>日常に役立つ書式も記載されており、手紙や封筒、願書の書き方など今後の生活に生かせるつくりになっている。</li> </ul>			
種 目	社会（地理）	発行者	株式会社帝国書院
<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習を振り返ろう」で、その節で学んだ知識を振り返り、自分の考えをまとめるという流れになっており、生徒が主体的に学べる。</li> <li>「アクティブ地理」では、歴史的分野や公民的分野とも関連するテーマが設定されており、多文化の学習と関連する視点が提示されるなど、多角的、多面的に考える工夫がある。</li> <li>「技能を磨く」というコラムでは、地図帳や統計、グラフなど基礎的な技能を学べ、資料活用の問いから活用できるようになっている。</li> <li>地図が立体的で見やすい。</li> <li>写真がその後の本文にうまく関連づけられており、地理的な見方や考え方がスムーズに導かれる構成になっている。</li> </ul>			
種 目	社会（歴史）	発行者	株式会社帝国書院
<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間で学ぶ内容が、「導入」、「学習課題」、「本文」、「確認しよう」、「説明しよう」の展開で、見開き1ページにまとまっていて、見通しをもって学習できる。</li> <li>「タイムトラベル」のページは、人々の暮らしの移り変わりがイラストによって各時代で比べられるようになっており、その時代を学ぶことへの意欲へつながる。</li> <li>「未来に向けて」というコーナーでは、SDGsにも関連して、未来をつくるための参考となる先人たちの取組が紹介されている。</li> <li>見開きの右ページの端には縦長の年表がついており、今自分が何を勉強しているのか、時代はどの辺りなのか、生徒が再認識しながら学習できる。</li> <li>「確認しよう」、「説明しよう」の問いが具体的で、生徒が意欲的に学んでいける。</li> </ul>			

<b>種 目</b>	<b>社会（公民）</b>	<b>発行者</b>	<b>株式会社帝国書院</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・章の導入部分の「学習の前に」の大きな絵がとても印象的で、社会について身近な問題として捉えられるような工夫がされている。</li> <li>・「アクティブ公民」のコーナーでは、ロールプレイングやディベートなどを使って、学習事項を確認する中で、様々な立場に自分が立って考え、自分の意見を伝え、みんなで話し合うという機会が設けられており、様々な視点から物事を捉えられるようになっている。</li> <li>・「学習を振り返ろう」では、その章で学んだ知識から自分なりに考えたことをまとめられるようになっている。</li> <li>・思考ツールの活用が充実していて、自分の考えをまとめるときに役に立つ。</li> <li>・写真やイラスト資料が豊富で分かりやすく掲載されている。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>地図</b>	<b>発行者</b>	<b>株式会社帝国書院</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大判で色の濃淡がはっきりしているので高さなどが良く分かり、細かいところまで見やすくなっている。</li> <li>・産業や農産物、歴史的背景が分かりやすく掲載されている。</li> <li>・大気汚染や電力など様々な題材が描かれており、社会科だけでなく様々な知識を深めることができる資料が豊富に掲載されている。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>数学</b>	<b>発行者</b>	<b>学校図書株式会社</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・クエスチョンマークで例題が強調されており、数学が苦手な子でもそこを見ることで、何を、どう学習していけば良いのか、分かりやすい。</li> <li>・「章のまとめの問題は、基本、応用、活用の三つの分類がはっきりしているので、自身の理解度を段階的に確認できるとともに、個人の学力に合わせて学習がしやすい。</li> <li>・「数学へのいざない」で身の回りのどのようなところで数学が役に立っているのか、数学史の中で数学がどのような発展をしてきたのかということを知ることによって、数学への学習の意欲を高められるような工夫がされている。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>理科</b>	<b>発行者</b>	<b>株式会社新興出版社啓林館</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文説明と写真、資料等の配置が見やすく編集されている。</li> <li>・学習のまとめ、力試しが單元ごとにあり、学習の確認ができて良い。</li> <li>・サイエンス資料は、様々な題材が示されており、理科に必要な計算説明がまとめてあり、生徒に覚えて欲しい資料である。</li> <li>・「探Qシート」は「探Q実験」に対応しており、生徒が主体的に取り組み、考える力を育てる工夫がされている。</li> <li>・単元の導入ページにダイナミックな写真が掲載されていて、目を引く。そこにある「はてなスイッチ」という二次元コードから動画の視聴をすることで、何を学ぶのかイメージしやすいようになっている。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>音楽（一般）</b>	<b>発行者</b>	<b>株式会社教育芸術社</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の最初に声の出し方について大きなイラストを用いて説明しており、変声期に声が出しづらい理由についてもわかりやすく説明されている。</li> <li>・デジタルコンテンツでは、パートごとの演奏が用意されており、生徒が練習をする際に活用しやすい。また、自分で曲を作成することもできる。</li> <li>・題材名の横に学ぶことが問いとして明記されており、何が大切なのかわかりやすい。</li> </ul>			

<b>種 目</b>	<b>音楽（器楽）</b>	<b>発行者</b>	<b>株式会社教育芸術社</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダーの運指表が見開きになっており、見やすいので苦手な生徒も取り組みやすい。</li> <li>・中学生が興味を持ちやすい曲が扱われており、親しみを持ちやすい。</li> <li>・巻頭に各界で活躍する人の話が載っており、楽器が苦手な生徒も興味を持ちやすい。</li> <li>・文章や楽譜の近くにイラストや写真があり、学ぶときに大切な情報に自然と目がいくようになっている。</li> <li>・デジタルコンテンツでは、伴奏の音源の他、楽器を演奏している映像を観ることができる。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>美術</b>	<b>発行者</b>	<b>光村図書出版株式会社</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品の写真の使い方が大胆で、作品への興味を引くレイアウトになっている。</li> <li>・デジタルコンテンツに全国の生徒の作品例が掲載されており、創作のアイデアが浮かばない生徒が参考にできる。</li> <li>・資料編に美術の知識がコンパクトにまとまっている。</li> <li>・吹き出しで生徒の言葉が示されており、共感しやすいヒントとなっている。</li> <li>・日本に関係するページに和紙が使われており、触って感じることができる。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>保健体育</b>	<b>発行者</b>	<b>株式会社 Gakken</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れがわかりやすい構成になっている。</li> <li>・章のまとめで学習した内容を確認することができる。</li> <li>・学習内容に関わる動画などのデジタルコンテンツが充実している。</li> <li>・ウェルビーイングや感染症などこれからの社会を生きていく上で必要な内容を考えることができるようになっている。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>技術</b>	<b>発行者</b>	<b>東京書籍株式会社</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭にある技術のガイダンスでは、様々な角度から技術について学べるようになっている。</li> <li>・「生活に生かそう」という問いで、学んだことを自分事として生かしていくことができるようになっている。</li> <li>・左利きの生徒に向けた動画がデジタルコンテンツで用意されており、どの生徒も学びやすい配慮がされている。</li> <li>・「技術の匠」は、社会で活躍している技術に携わる人の声が記載され、生徒の学ぶ意欲を高めることにつながっている。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>家庭</b>	<b>発行者</b>	<b>東京書籍株式会社</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・編の導入は見開き2ページで文字や写真が見やすく配置されており、その編で学ぶ内容に興味を持たせる工夫がされている。</li> <li>・調理実習や製作の手順が横に配列されており、見やすく、わかりやすい。</li> <li>・「いつも確かめよう」では、調理実習の際に必要な衛生・安全について写真やイラストでわかりやすく示されている。</li> <li>・各節の初めに課題設定が明確にされており、その説で何を学ぶのかがわかりやすい。</li> </ul>			
<b>種 目</b>	<b>英語</b>	<b>発行者</b>	<b>光村図書出版株式会社</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の初めに、子音・母音それぞれの発音の仕方がデジタルコンテンツで学べるようになっており、発音と文字をつなげる工夫がされている。</li> <li>・「英語の学び方ガイド」はQ&amp;Aで作られており、同じ疑問を持つ生徒が共感できるような工夫がされている。</li> </ul>			

- ・デジタルコンテンツは紙面から直接アクセスでき、学習しやすくなっているとともに、英語の語句の読み上げなどにはネイティブの音声収録されている。
- ・日常の身近な話題が取り上げられ、ストーリー性があり、楽しみながら学ぶことができる。

種 目	道 徳	発 行 者	日 本 文 教 出 版 株 式 会 社
<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いがノートに記載されていないなど、道徳的な課題を自分との関わりの中で生徒が主体的に考えられる工夫がされている。</li> <li>・「心情メーター」で思考が可視化されることで、言葉にできなくても考えていることを表現することを補助してくれるので、自分を見つめて物事を多面的・多角的に考えることができる。</li> <li>・「視野を広げて」では、いじめなど大切なテーマを取り上げ、生徒がじっくりと考えることができる工夫がされている。</li> </ul>			